

Digital Content EXPO 2014  
Content Technology Showcase

参加のご案内



Digital Content EXPO 2014

2014/10/23 Thu - 26 Sun

会場：日本科学未来館

主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

## 事業概要

コンピュータ技術の発展と足並みを合わせて成長を遂げてきたデジタルコンテンツは、ゲームやアニメなどの産業を発展させるとともに、芸術表現の場として新たな文化を生み出してきました。

コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティなどの関連技術は、コンテンツ産業の発展を牽引するだけでなく、医療やバイオなど多彩な分野へも応用の幅を広げています。デジタルコンテンツ EXPO は、こうしたデジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、企業関係者等が参加し、最新の情報を交換しながら、デジタルコンテンツ産業の5年10年先の将来像を描き出す国際的イベントです。

名 称： デジタルコンテンツ EXPO2014  
Digital Content EXPO 2014

会 期： 2014年10月23日(木)～26日(日) 4日間  
<予定>  
23日(木) 午前：プレスプレビュー  
午後：事前登録者のみ公開  
24日(金)～26日(日) 一般公開

会 場： 日本科学未来館  
東京都江東区青海2-3-6  
<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主 催： 一般財団法人デジタルコンテンツ協会

## Concept

### デジタルイノベーションの架け橋 Bridge for digital innovation

1. 世界からコンテンツ技術の産学関係者が集まる「国際交流イベント」です。  
デジタルコンテンツ EXPO は、これまで世界中から多くの産学関係者が参加してきた実績を有します。
2. 次世代コンテンツ産業を担う、「技術と創造力と産業が出会う場」です。  
デジタルコンテンツ EXPO には、毎回多数の研究者、クリエイター、企業関係者が参加し多彩な交流が生まれています。
3. 優れた研究成果の実用化を促進する「イノベーションの架け橋」です。  
デジタルコンテンツ EXPO は、プロトタイプ段階まで進んだ研究開発成果を社会に示し、ニーズを顕在化することによって製品化を後押しし、「死の谷」に阻害されないイノベーションの創出を促進します。
4. 新たなビジネスの種を生む「価値創造プラットフォーム」です。  
デジタルコンテンツ EXPO は、分野や専門性を超えた交流とソーシャルメディアによる情報交流を促進し、新たなビジネスの種となる価値の創造を促進します。

## 参加をお薦めする理由

世界の第一線で活躍する研究者、技術者、クリエイターが数多く参加し、新たなネットワークを育む機会に満ちたイベントです。

デジタルコンテンツイベントの実行委員をはじめ、シンポジウムやワークショップの講演者や展示物の開発者の中には、世界の第一線で活躍する研究者や技術者、クリエイターなどが数多く参加しており、このイベントに参加することで、こうした人々とのネットワークを育む機会に恵まれます。

参加に係る負担が小さく、大企業でなくともベンチャー企業や研究部門だけでも参加できます。

大規模な展示会や見本市は出展料や出展ブースの造作にかかる費用が膨大。しかし、デジタルコンテンツ EXPO は参加に係る負担が小さくて済みます。これは、コンセプトでも説明しているように、製品化の前の研究開発段階のシーズ技術やプロトタイプシステムを出展してもらうためには、広報宣伝費や販促費などが使えない研究部門や大学、ベンチャー企業などでも無理なく参加できる出展条件とすることが不可欠と考えているためです。

昨年の来場者は 25,318 名。DCEXPO TV (USTREAM) でも視聴され、情報感度の高い層に優れた訴求効果を発揮します。

デジタルコンテンツ EXPO2013 では 3 日間で延べ 25,318 名の方が会場に訪れました。また、USTREAM を活用してシンポジウムや展示の様子をリアルタイム配信した DCEXPO TV では優れた情報発信効果を発揮しました。来場者や視聴者の多くは、デジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、ジャーナリストなど情報感度の高い人々で、デジタルコンテンツ EXPO での情報発信は訴求効果に優れています。

国内外のマスメディアが多数訪れ、活発な報道が期待できます。

デジタルコンテンツ EXPO2013 では、延べ 82 名の取材と 269 件の露出がありました。海外での報道も多く、優れた広報効果が期待できます。

一般財団法人デジタルコンテンツ協会が主催する信頼性の高いイベントです。

一般財団法人デジタルコンテンツ協会は、74 の企業・団体を会員に持つ業界最大級の機関で、経済産業省の政策を背景に、コンテンツ産業の調査・統計、デジタルコンテンツ白書の発行、コンテンツ関連技術の調査研究・実証事業、技術戦略マップ（コンテンツ分野）のとりまとめ、産学官連携による啓蒙普及イベントの実施、国際交流・国際展開支援などを行っています。

## 出展者の声

出展参加者の声を多数いただいております。(一部、抜粋させていただきます)

株式会社 Gnzo 様「成約実績が多く、手頃な出展費に対して費用対効果が非常に高い」

来場者の方々がこれまでにない新しいテクノロジーを求めてきている方が多く、興味度が非常に高いため、引き合いや成約につながりやすいです。又、同一カテゴリーの集まる他の展示会に比べ、多種多様なジャンルが集まるため、異なる業種のお客様にご提案できるメリットもあります。自社サービスが思わぬ連携、つながりが生まれたりしますし、参加スタッフの刺激にもなります。

株式会社ソリッドレイ研究所様 「予想以上の反応があり、手ごたえを感じています」

デジタルコンテンツ EXPO には、毎年出展させていただいており、弊社の技術をアピールする貴重な場となっています。また、周りの出展者様にも良い刺激をもらっています。その他の展示会に比べ、一般の方が多くご来場されるため、素直な反応を生で感じることができ、思いがけない課題が見つかることも多々あります。また、実験的な内容の展示でしたが、予想以上の反響があり、手応えを感じています。今回の出展を通して、国際イベントであるアセアンフェアへの出展のお話もいただき、弊社技術を世界にアピールできる素晴らしいきっかけとなりました。

株式会社東芝様 「世界的権威のある団体等VIPの方と接触できる貴重な機会」

デジタルコンテンツ EXPO は大学関係者や学術系・技術系企業の社員の方の来場者が多いので、弊社製品の訴求にとっては、大変ありがたい展示会だと思っております。また、このデジタルコンテンツ EXPO と他の展示会の圧倒的違いがあるとすれば、世界から出展者やセミナー・シンポジウムの登壇者を招聘し続けているところにあるでしょう。基本的に、これから求められる展示会の姿はグローバルコンセプトでなければならないと思います。そういった意味で、DCEXPO への出展は大変有意義です。また、会場の日本科学未来館は小中学校の見学コースでもあり、未来を担う子供たちが、今後の将来を支える成長産業に興味を持ってくれることは、非常に価値のあることだと思います。

文教大学様 「産学連携のための有効な場として活用しています」

文教大学 情報学部では 2014 年度よりメディア表現学科、情報社会学科が誕生します。2013 年度は「オリジナル 3D キャラクターの研究」というテーマで 3D 立体映像を展示しました。また DCEXPOTV において声優有野いくさんの司会進行で制作プロセスを発表しました。映画、アニメーションはもちろんのこと、モバイルゲームやオンラインゲームなどあらゆるプラットフォームでオリジナルキャラクターの需要が高まっています。今回はデジタル化に向かっている出版業界、放送業界そして各プロダクション等多数お声がかかりました。共同開発も含め産学連携の形が整いつつあり、これからはとても楽しみです。次回もさらに前進した研究を発表する予定です。



Digital Content EXPO 2014

2014/10/23 Thu – 26 Sun

会場：日本科学未来館

主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

Content Technology

Showcase への参加

デジタルコンテンツ EXPO では、経済産業省が主催するプログラムと併せて、弊協会が企画し、コンテンツ分野の企業や研究機関から有料で参加をいただく「Content Technology Showcase」を実施しております。下記プログラムにご参加いただけます。

### シンポジウム

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、国際的或いは先進的情報が得られるもの。  
60分～90分程度の所要時間で、150～300名程度を集客できるもの。

### セミナー

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、専門家または学生を対象に、専門的技術や知識の習得を促すもの。  
60分～90分程度の所要時間で、30～100名程度を集客できるもの。

### ワークショップ

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、主に児童・学生を対象に、体験を通じて学習への好奇心を養うもの。  
30分～90分程度の所要時間で、20～50名程度を集客できるもの。

### 展示

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場において実験装置や映像等を実際に展示できるもの。  
原則として4日間通期で展示でき、要員が常駐して説明を行うことができるもの。

### ステージイベント

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場に設置したイベントステージで実演を行うもの。またCGやアニメーション、実写など展示会場に設けたスクリーンで上映可能な作品。10分～50分程度の所要時間で、100～150名程度の観客にふさわしいもの。

会場施設

日本科学未来館

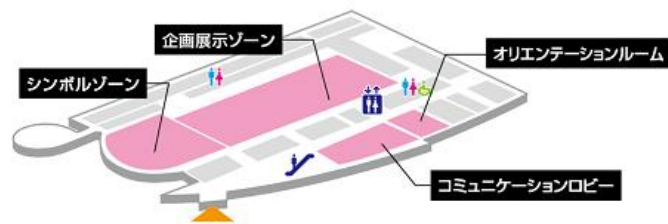


施設名	規模	階数	シンポジウム	セミナー	ワークショップ	展示	ステージイベント
みらいCAN ホール	300 席	7F	●				
会議室 1	54 席	7F		●	●		
会議室 2	84 席	7F		●	●		
会議室 3	80 席	7F		●	●		
イノベーションホール	196 m <sup>2</sup>	7F		●	●		
企画展示ゾーン	1,357 m <sup>2</sup>	1F				●	
センターステージ	150 席	1F	●	●			●

フロアMAP



7階



1階

会場写真

みらいCANホール	会議室 1	会議室 2
		
会議室 3	イノベーションホール	センターステージ (展示ゾーン)
		
展示ゾーン		

参加費用

Content Technology Showcase は、開催に係る経費として、以下の費用をご負担いただきます。参加費には、施設利用費、光熱費、受講者受付、事前予約（希望者）、広報(Web、印刷物)等を含みます。

(消費税別)

プログラム区分	規模	時間枠	参加費		
			特早割引料金 (~2014/5末)	早期割引料金 (~2014/8末)	通常料金
シンポジウム	150~300名	2時間	200,000	280,000	350,000
セミナー	30~80名	2時間	80,000	100,000	120,000
ワークショップ	20~50名	2時間	80,000	100,000	120,000
展示 A	単位区画 3×3.5㎡	4日間	210,000	230,000	250,000
展示 B	単位区画 3×3.5㎡	4日間	170,000	190,000	210,000
ステージイベント	100~150名	1時間	70,000	80,000	90,000

(シンポジウム・セミナー・ワークショップの時間枠 (予定))

- ① 11:00~13:00
- ② 13:00~15:00
- ③ 15:00~17:00

※準備・撤去含む。

※上記は予定ですので変更することもあります。

(ステージイベント、スタジオ、映像上映の時間枠 (予定))

- ① 10:00~11:00
- ② 11:00~12:00
- ③ 12:00~13:00
- ④ 13:00~14:00
- ⑤ 14:00~15:00
- ⑥ 15:00~16:00
- ⑦ 16:00~17:00

※準備・撤去含む。

※上記は予定ですので変更することもあります。

(展示の時間枠 (予定))

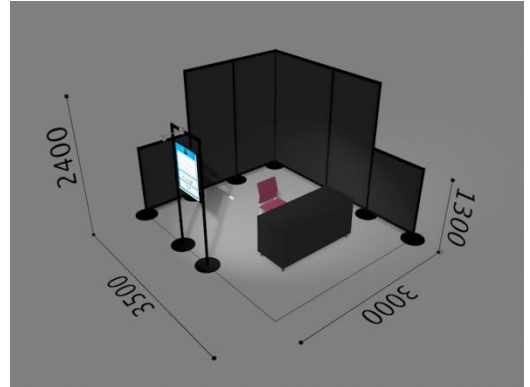
10:00~17:00



展示タイプ

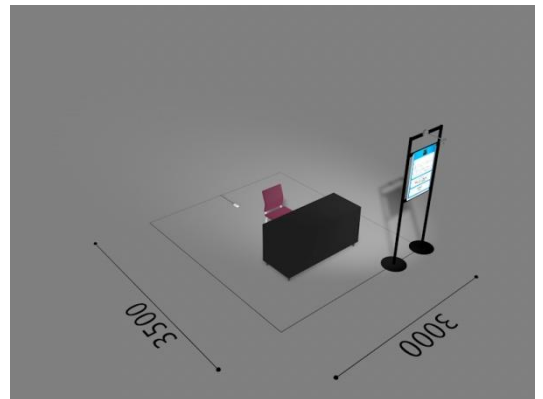
●展示A (基本タイプ)

- ・ W3000xD3500xH2400 (10.5㎡)
- ・ 側面壁は境界線より1000mmまで高さ1300mm
- ・ 床は施設の床のまま (長尺塩ビシート)
- ・ 基本ブースに含まれる備品、設備
  - 共通サイン1台
  - 机 (1500x600) 1台
  - 椅子1脚
  - クロス (黒)
  - コンセント1箇所 (20Aまで)



●展示B (敷地渡し)

- ・ W3000xD3500 mm (10.5㎡)
- ・ 床は施設の床のまま (長尺塩ビシート)
- ・ 基本ブースに含まれる備品、設備
  - 共通サイン1台
  - 机 (1500x600) 1台
  - 椅子1脚
  - クロス (黒)
  - コンセント1箇所 (20Aまで)



参加条件

参加の条件は以下のとおりです。

1. 参加が可能な機関等  
法人格を持つ企業・団体となります。国内・国外は問いません。
2. 申込方法  
参加をご希望の場合は、申込書（別紙【様式1】）に必要事項をご記入の上、メールにてご提出ください。  
複数のプログラムをお申し込みになる場合は、プログラムごとに1枚ずつ提出してください。
3. 提出先  
デジタルコンテンツ EXPO2014 事務局（一般財団法人デジタルコンテンツ協会 内）  
apply@dcexpo.jp  
担当：舟見、伊藤、大森
4. 参加の決定  
申込のあった企画は、デジタルコンテンツ EXPO 事務局において審査の上、決定いたします。  
参加プログラムの実施日時は、他のプログラムとの調整によって決定します。ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。
5. テーマ  
以下のいずれかに該当するテーマを対象とします。
  - ・デジタルコンテンツ分野における「技術」のうち、先進性、独創性に優れるもの
  - ・デジタルコンテンツ分野における「作品」のうち、芸術性、独創性に優れるもの
  - ・デジタルコンテンツ分野における「ビジネスモデル」のうち、市場性、独創性に優れるもの
  - ・デジタルコンテンツ分野の「人材育成」に資するもの
  - ・デジタルコンテンツ分野の「国際交流」に資するもの
  - ・デジタルコンテンツ分野の「ビジネスマッチング」に資するもの
  - ・その他、主催者が認めたもの
6. 参加基準
  - [1] 実施条件
    - ・会場の展示施設において展示を行うことができるもの
    - ・会場の上映施設において上映を行うことができるもの
    - ・会場の会議施設においてシンポジウムやセミナー、ワークショップ等を行うことができるもの
    - ・その他、主催者が認めたもの
  - [2] 費用負担
    - ・参加プログラムの実施・運営に係る人件費、運搬費、旅費、コンテンツ制作費等の経費を参加者が負担できるもの
    - ・その他、主催者が認めたもの
  - [3] 排除事項
    - ・公序良俗に反するもの
    - ・青少年の健全な育成に反するもの
    - ・反社会的勢力が関与するもの
    - ・国際社会での関係性において不適切なもの
    - ・その他、社会通念に照らし主催者が不適切と判断したもの

#### [4]規約

##### (参加事業者によるスペースの使用権)

- ・シンポジウム、セミナー、出展者等各参加事業者は、所定の期日までに定める参加料金の入金を確認できたときをもって、使用権を取得となります。
- ・参加申請の後、キャンセルが生じた場合は、下記キャンセル料が発生します。
  - お申込～8月31日まで：参加費用の30%
  - 9月1日～9月30日まで：参加費用の50%
  - 10月1日以降：参加費用の100%

##### (出展スペースの使用期間)

- ・出展スペースの使用期間は2014年10月23日(木)9:00から2014年10月26日(日)17:00までです。なお、会場での準備・撤収については別途協議となります。

##### (参加事業者の事業譲渡等の禁止)

- ・事業の全部または一部を有償・無償問わず第三者に担保・譲渡・貸与もしくは参加事業者相互間で交換することはできません。

##### (参加事業の解除・変更)

- ・参加事業者が、各号いずれかに該当する場合、参加の解除・変更ができます。

- (1) イベントの開催趣旨に反する恐れがあるものと認められる場合
- (2) 公の秩序または善良な風俗を乱す恐れがあるものと認められる場合
- (3) 会場となる建物またはその設備に損害を与える恐れがあるものと認められる場合
- (4) 集団的にまたは常習的に暴力的不法行為を行う恐れがある組織、もしくはその関係者、又は事業内容が明確でない団体であるものと認められる場合
- (5) 参加申込書に虚偽の記載をしていた場合
- (6) 所定の期日までに所定の料金を振り込まない場合
- (7) その他、イベント運営の管理、運営上支障があるものと認められる場合

##### (イベント開催の変更および中止)

- ・天災その他不可抗力等、事務局の責めに帰しえない原因によって、会期を変更または開催を中止することがあります。
- ・前項により会期が変更となった場合、参加事業者は事前通知により、内容変更することが出来ます。尚、これにより参加者に生じる障害等に事務局は責任を一切負いません
- ・開催を中止する場合、催告なく参加解除することができます。これにより参加事業者が生じる損害等についての責任は、一切負いません。
- ・出展契約の解除または変更によって、既納の料金に減額が生じた場合には、その差額を返還します



Digital Content EXPO 2014

2014/10/23 Thu - 26 Sun

会場：日本科学未来館

主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

来場者実績

DCEXPO2013

日程：2013年10月24日(木)～26日(土)

主催：経済産業省

一般財団法人デジタルコンテンツ協会

場所：日本科学未来館

来場者数：25,318名(延べ)

広報実績

取材件数：3日間延べで取材人数 82名

露出件数：(平成25年11月1日時点)

- ・TV 7件 (NHK総合、日本テレビ、フジテレビ、テレビ東京、東京MXテレビ)
- ・ラジオ 1件 (文化放送)
- ・新聞 5件 (東京IT新聞、映像新聞他)
- ・雑誌 3件 (週刊アスキー、TOKYO HEADLINE他)
- ・WEB 253件

お問い合わせ

デジタルコンテンツ EXPO2014 事務局

一般財団法人デジタルコンテンツ協会

〒102-0082 東京都千代田区一番町 23 番地 3 日本生命一番町ビル LB

Tel : 03-3512-3903 Fax : 03-3512-3908

Mail: [apply@dcexpo.jp](mailto:apply@dcexpo.jp)

担当：舟見、伊藤、大森